

<http://www.shika-implant.org/>

インプラント
ニュース



since 1972
Japanese Society
of Oral Implantology

第16号

平成24年7月10日発行

Implant News No.16

公益社団法人 日本口腔インプラント学会会報

発行人 渡邊 文彦 編集 公益社団法人 日本口腔インプラント学会広報委員会

事務局 〒105-0014 東京都港区芝2-30-11 芝コトブキビル301

TEL. 03-5765-5510 FAX. 03-5765-5516

HP: <http://www.shika-implant.org/> Eメールアドレス: jsoi@peace.ocn.ne.jp

【本号のトピックス】

第42回大会迫る、平成23年度 各種専門資格合格者、
支部活動報告 など

9月21日～23日は、大阪国際会議場でお会いしましょう

大会長 江藤隆徳
実行委員長 馬場俊輔

第42回公益社団法人日本口腔インプラント学会・学術大会を、9月21日(金)・22日(土)・23日(日)の3日間にわたり、大阪市の大阪国際会議場(グランキューブ大阪)にて開催いたします。

今回の学術大会では「インプラント患者目線での安心医療とは」をメインテーマに掲げ、国民の目線からのインプラント治療に対する安心について考える学会にしたいと思っております。

プログラムについては、特別講演1の講師に独立行政法人・医薬品医療機器総合機構 審議役の重藤和弘先生にご講演いただきます。また、特別講演2・市民公開講座では講師に作家の五木寛之先生のご講演を予定しております。学術委員会主催のシンポジウムでは、「患者目線からみた安心のインプラント治療とは」および「チェックリストとインプラントカードの使い方」をテーマに、教育委員会主催のシンポジウムでは、「口腔インプラント治療指針とその活用」および「インプラント周囲炎の原因と対応」など、その他各種委員会主催のシンポジウム・セミナーを企画しております。国際セッションではAAID・AO・DGIから演者をお招きし、「各学会におけるガイドラインの現状」をテーマに講演いただく予定です。

また、前回の学術大会で好評でした若手インプ

ラントロジストのワークショップでは、「インプラント治療の介入時期—その役割とタイミング」をテーマに、これからインプラント治療を始めようとしていらっしゃる先生方を対象に「インプラント入門コース」などを企画しております。

さらに、課題口演、一般口演、ポスター発表、女性インプラントロジスト育成のためのセミナー、関連学会との合同シンポジウム、専門医教育講座、専門歯科衛生士セミナー、専門歯科技工士セミナー、ワールドサテライトセミナー、テーブルクリニック、ランチョンセミナー、イブニングセッション、企業展示等々を予定しております。

尚、事前参加登録の期日が8月6日(月)までとなっております。22日(土)の夜に開催いたします懇親会(リーガロイヤルホテル大阪)にも是非ご参加いただき、会員相互の親睦と交流を深める絶好の機会ですし、「食道楽大阪」のお料理をお楽しみ下さい。

本学術大会が参加者の皆様にとって実り多いものとなるよう実行委員ともども最大限努力いたしております。多くの会員および非会員の方々のご参加をお待ちしております。大阪国際会議場でお会いしましょう。

第 42 回公益社団法人 日本口腔インプラント学会・学術大会

テーマ: **インプラント患者目線での
安心医療とは**

2012年9月21日(金)~23日(日)

大阪国際会議場

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

TEL:06-4803-5555

大会長 **江藤 隆徳**(公益社団法人 日本口腔インプラント学会
近畿・北陸支部 支部長, 大阪歯科大学 臨床教授)

実行委員長 **馬場 俊輔**(大阪歯科大学 口腔インプラント科 教授)

主要プログラム

21 日 (金)	午後	■専門医教育講座 代居 敬(日本歯科大学)

22 日 (土)	午前	■基調講演 川添 堯彬(本会前理事長、大阪歯科大学)	■理事長講演 渡邊 文彦(日本歯科大学)
		■シンポジウム【教育委員会主催】 「口腔インプラント臨床指針とその活用」 加藤 仁夫(日本大学) 廣瀬 由紀人(北海道医療大学)	■若手インプラントロジストのためのワークショップ 「インプラント治療の介入時期—その役割とタイミング—」 森永 大作(佐賀県開業) 岩野 義弘(日本インプラント臨床研究会) 小川 宗一(新潟再生歯学研究会)
		CT プレゼンテーション	
		ワールドサテライトセミナー	
		テーブルクリニック	
		ランチョンセミナー	
	午後	■特別講演 1 重藤 和弘(独立行政法人医薬品医療機器総合機構 審議役)	
		■倫理委員会セミナー 「インプラント治療従事者が理解しておくべき倫理観」 高森 等(日本歯科大学附属病院) 若松 陽子(若松陽子法律事務所)	■シンポジウム【医療・社会保険委員会主催】 「保険収載広範囲顎骨支持型補綴装置の治療指針と臨床」 和田 康志(厚生労働省) 朝波 惣一郎(国際医療福祉大学三田病院) 久保 隆靖(広島大学病院)
		■インプラント治療における情報提供を考える 堀口 逸子(順天堂大学) 阿部 泰彦(広島大学) 阿部 智(帝京大学)	■臨床の疑問に答える 高森 等(日本歯科大学) 村上 秀明(大阪大学) 築瀬 武史(公益社団法人日本歯科先端技術研究所) 奥野 幾久(大阪大学) 中島 清史(有限会社 KN デンタルラボラトリー) 倉嶋 敏明(新潟再生歯学研究会)
		■日本CAD/CAM学会合同シンポジウム 「CAD/CAMテクノロジーを活かしたインプラント治療の 現状と課題」 松川 敏久(奈良県開業) 十河 厚志(デンテックインターナショナル株式会社)	■日本口腔検査学会の集い 「臨床検査が担うインプラントのセーフティネット」 武田 孝之(東京都開業) 康本 征史(千葉県開業) 松坂 賢一(東京歯科大学)
			■国際セッション 「AAIS、AO、ドイツ国際渉外委員会各学会におけるガイドライ ンの現状」
		イブニングセッション	
ガイドサージェリープレゼンテーション			
テーブルクリニック			

事前参加登録期間:8月6日(月)まで

大会参加申込(事前登録)は第42回学術大会ホームページ上にて受付いたします。

<http://www2.convention.co.jp/42jsoi/>

大会事務局:大阪歯科大学 口腔インプラント科
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-17
TEL: 06-6910-1089 FAX: 06-6910-1048
E-mail: jsoi42@cc.osaka-dent.ac.jp

運営事務局:日本コンベンションサービス株式会社 関西支社
お問合せ先 〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7
京阪神淀屋橋ビル2階
TEL: 06-6221-5933 FAX: 06-6221-5938
E-mail: 42jsoi@convention.co.jp

大会参加登録費

	資格	事前(8/6まで)	当日
会員		15,000円	20,000円
非会員	歯科医師, 一般	20,000円	25,000円
準会員・非会員	歯科技工士・歯科衛生士	7,500円	9,000円
	コデンタルスタッフ	7,500円	9,000円
	学生(大学院を含まず)	3,000円	3,000円
懇親会(できる限り事前登録をお願いします)		10,000円	12,000円

※正会員でも歯科技工士・歯科衛生士の大会参加登録費は、準会員扱いとなります。

23 日 (日)	午前	■シンポジウム【学術委員会主催】 「患者目線からみた 安心のインプラント治療とは」 米原 達生(NHK報道局) 中沢 芽久美(ドゥアンドドゥプランニング有限公司) 萩原 芳幸(日本大学)	■シンポジウム【学術委員会主催】 「チェックリストとインプラントカードのねらい」 前田 芳信(大阪大学) 古谷野 潔(九州大学) 井上 孝(東京歯科大学) 松井 徳雄(東京都開業) 佐藤 裕二(昭和大学)
		■顎顔面インプラント学会合同リレーシンポジウム 「インプラント医療事故への対応—術中出血—」 阿部 伸一(東京歯科大学) 星名 秀行(新潟大学) 城戸 寛史(福岡歯科大学)	■女性インプラントロジスト育成のためのセミナー 「活躍する女性に学ぶ—専門性を高める—」 田村 文誉(日本歯科大学) 若松 陽子(若松陽子法律事務所)
		■専門歯科衛生士教育講座【専門歯科衛生士委員会主催】 「歯科インプラント治療に関わる術前口腔内環境のコントロールからメンテナンスまで」 柏井 伸子(有限会社ハグクリエイション)	■専門歯科衛生士セミナー【専門歯科衛生士委員会主催】 「インプラント周囲炎をめぐる歯科衛生士の役割」 Susann Lindgren (Oral & Maxillofacial Unit, Hallards Hospital Halmstad in Sweden)
		■専門歯科技工士教育講座【専門歯科技工士委員会主催】 「CAD/CAM 製作によるインプラント上部構造の適合と材質の選択」 木村 健二(有限会社協和デンタルラボラトリー)	■専門歯科技工士セミナー【専門歯科技工士委員会主催】 松下 恭之(九州大学)
		■インプラント入門コース 江原 雄二(京都インプラント研究所) 竹内 宏行(京都インプラント研究所) 阪本 貴司(大阪口腔インプラント研究会) 清水 孝治(ジャント) 利森 仁(臨床器材研究所)	
	ワールドサテライトセミナー テーブルクリニック ランチョンセミナー		
	午後	■特別講演 2・市民公開講座 五木 寛之(作家)	■インプラント入門コース 岩田 愛(臨床器材研究所) 阪本 貴司(大阪口腔インプラント研究会) 山上 哲賢(京都インプラント研究所)
		■日本補綴歯科学会合同シンポジウム 「インプラントオーバーデンチャーの臨床とエビデンス」 前田 芳信(大阪大学) 市川 哲雄(徳島大学)	■セミナー:インプラント周囲炎【教育委員会主催】 「インプラント周囲炎の原因と対応」 松井 孝道(宮崎県開業) 佐藤 聡(日本歯科大学)
		■認定・試験・編集委員会セミナー【認定・試験・編集委員会主催】 「認証医・専門医・指導医資格取得のためのガイダンス」 細川 隆司(九州歯科大学) 又賀 泉(日本歯科大学) 藤井 俊治(新潟再生歯学研究会)	
		ワールドサテライトセミナー テーブルクリニック	

平成23年度 研修施設長, 施設名変更

- ・(旧) 福岡歯科大学インプラント科
松浦正朗
- ⇒(新) 福岡歯科大学口腔インプラントセンター
城戸寛史

平成23年度 研修施設長名変更

- ・(旧) 昭和大学歯科病院 佐藤裕二
⇒(新) 昭和大学歯科病院 尾関雅彦
- ・(旧) 大阪口腔インプラント研究会 西村敏治
⇒(新) 大阪口腔インプラント研究会 阪本貴司
- ・(旧) 九州インプラント研究会 添島義和
⇒(新) 九州インプラント研究会 伊東隆利

平成23年度 新規指定研修施設

- ・近畿大学医学部附属病院歯科口腔外科
施設長：濱田 傑
- ・横浜口腔インプラント研究会
施設長：野村隆祥

平成23年度 指導医合格者

- 楠本哲次(大阪歯科大学附属病院口腔インプラント科)
 - 三上 格(北海道形成歯科研究会)
 - 江黒 徹(日本歯科先端技術研究所)
 - 竹下文隆(九州インプラント研究会)
 - 宗像源博(東京医科歯科大学歯学部附属病院インプラント外来)
 - 渡邊悟朗(鶴見大学歯学部附属病院口腔顎顔面インプラント科)
 - 清川宗克(北海道形成歯科研究会)
 - 和田義行(北海道形成歯科研究会)
 - 児玉利朗(九州インプラント研究会)
 - 岸田 剛(九州インプラント研究会)
 - 松井義郎(香川医科大学医学部歯科口腔外科学講座)
- (以上11名)

平成23年度 専門医合格者

- ▼東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学教室
熊坂 士
- ▼東京歯科大学附属病院口腔インプラント科
松崎文頼, 田口達夫, 本間慎也
- ▼長崎大学病院口腔・顎・顔面インプラントセンター
柳本惣市
- ▼大阪大学歯学部附属病院
楠本直樹
- ▼大阪歯科大学附属病院口腔インプラント科
黒木克哉, 佐野寿哉, 大石建三
- ▼松本歯科大学病院
上松隆司
- ▼昭和大学歯科病院
坂本憲昭, 佐藤美穂子, 樋口大輔
- ▼九州大学病院再生歯科・インプラントセンター
平井友成
- ▼九州歯科大学附属病院口腔インプラント科
高橋 啓, 高野裕史
- ▼愛知学院大学歯学部附属病院
鍋島弘充
- ▼明海大学歯学部附属明海大学病院口腔外科第1科
田村暢章
- ▼北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系
クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野
草野 薫
- ▼福岡歯科大学インプラント科
伊藤明彦, 岡部千香夫, 岩本憲明
- ▼富山大学附属病院
津野宏彰
- ▼日本大学松戸歯学部附属病院口腔インプラント科
石川 明, 助川 洋, 浅賀知記, 毛塚和哉
- ▼日本大学歯学部附属歯科病院特殊診療部歯科インプラント科
小峰 太, 岩野義弘, 関 啓介
- ▼日本歯科大学新潟病院口腔インプラントセンター
小林英三郎, 金田 恒

▼東京医科歯科大学歯学部附属病院インプラント
外来

山口葉子, 佐藤大輔, 鳥居紗和子, 鬼原英道

▼鶴見大学歯学部附属病院口腔顎顔面インプラント
科

鈴木恭典, 磯田幸盛, 桐月寛郎

▼東京形成歯科研究会

豊田寿久, 奥寺俊允

▼臨床器材研究所

鈴木 一

▼北日本口腔インプラント研究会

谷津匡規

▼北海道形成歯科研究会

高田敬万, 吉谷正純, 千早洋嗣, 柴田慶郎

▼日本歯科先端技術研究所

渡辺禎之, 老川秀紀, 石井洋行, 砂野彰宏,
宮城英生

▼日本インプラント臨床研究会

後藤洋次, 中西 一, 小野喜徳

▼大阪口腔インプラント研究会

樋口春彦, 小室 暁, 山崎行庸

▼総合インプラント研究センター

今村直樹, 岩田雅裕

▼青森インプラント研究会

佐藤暢也, 柳谷博章

▼新潟再生歯学研究会

倉嶋敏明

▼埼玉インプラント研究会

村山大悟

▼口腔インプラント生涯研修センター

兼松義典, 渋谷光広, 細原政俊, 井畑信彦

▼九州インプラント研究会

佐藤隆太, 栗田英樹, 久保 巧, 永田 睦

▼京都インプラント研究所

日根野谷 仁, 藤井良郎

▼愛知インプラントセンター

岡田昌通, 近藤誉一郎, 日比由里子, 鈴木康司,
村井睦彦, 鈴木祥夫, 藤田忠生

▼ユニバーサルインプラント研究所

浜地宏哉

▼ジャシド

堀内克啓

▼インプラント再建歯学研究会

常田幸斉

(以上84名)

平成23年度 インプラント専門 歯科衛生士合格者

▼東北・北海道支部

(北海道) 志田智子

(青森) 福士 薫

(宮城) 中澤正絵

▼関東・甲信越支部

(神奈川県) 薄井祐子, 山縣純子

(埼玉県) 三上千明

(千葉県) 能城理加

(東京都) 井元淳子, 高野舞弥, 菅原礼子

▼中部支部

(愛知県) 小川綾乃

▼近畿・北陸支部

(大阪府) 森川紗里, 野崎衣見, 吉武勢津佳

(兵庫県) 河野裕美

▼中国・四国支部

(岡山県) 梶谷明子

(広島県) 高本 愛

▼九州支部

(熊本県) 椎葉美華, 篠宮伽奈

(福岡県) 緒方志暢

(以上20名)

平成23年度 インプラント専門 歯科技工士合格者

▼東北・北海道支部

(北海道) 行貞達也

▼近畿・北陸支部

(大阪府) 亀井正晃

(以上2名)

公益社団法人日本口腔インプラント学会 第29回九州支部学術大会報告

大会長 松井孝道



学会運営に携わった宮崎インプラント研究会一同

2012年1月21日(土)、22日(日)、宮崎市のシーガイア・コンベンションセンターにおいて日本口腔インプラント学会第29回九州支部学術大会が開催されました。

宮崎県は日本口腔インプラント学会の担い手となる大学歯学部がないため、20年前から開業医を中心に活動を続けてきました宮崎インプラント研究会が準備を進めて参りました。準備委員会では永井省二準備委員長を中心に多くの先生方のご協力のもと、運営会社に頼らない手作りの学会を目指しました。

九州支部(支部長・古谷野潔先生)は歴史的に一丸となって活発に学会活動を取り組んでおり、さらには先生方のインプラントに対する見識も高く毎年熱気に包まれた学会となっております。

本学術大会も一般口演49題、ポスター29題、ランチョンセミナー5題、器材展示52社となり、県内外から総数1,044名の参加者を迎えることができました。

本学術大会メインテーマには「インプラント補綴の最前線」を掲げ、日進月歩で進化を続ける補綴材料やCAD/CAMテクノロジー、デジタル印象など最新の情報を共有するため、シンポジウムでは最先端の技術を臨床に取り入れられ第一線で活躍されている先生方にご登壇頂き、大学の立場

から松下恭之先生、開業医の立場から田中秀樹先生、技工士の立場から木村健二先生それぞれより最新のインプラント補綴の現状を検証して頂きました。また特別講演では東京歯科大学臨床教授で開業医としても世界的に最先端のインプラント治療に取り組まれている飯島俊一先生にデジタル印象からCAD/CAMを用いた自院での症例を紹介して頂き、将来の展望も含めてご講演頂きました。

日本口腔インプラント学会は新たに公益社団法人となり、その活動の一環として一般市民の方々にインプラントに対するより正しい知識の周知を図るため市民公開講座も開催されました。NHKのインプラント問題報道の直後だっただけに一般の方々の関心も高く会場は満員となりました。座長に香月 武佐賀医科大学名誉教授をお迎えして、田中 悟先生による市民公開講座、さらに患者さんたちによる体験談や新聞社文化部記者の方にも加わって頂き、全員によるディスカッションを行い会場と相まって熱気に包まれた市民公開講座となりました。

さらに学会本部企画となる田中譲治先生によるインプラント専門医教育講演、平木めぐみ先生によるインプラント専門歯科衛生士教育講演、立山政記先生によるインプラント専門歯科技工士教育講演も満員の会場の中開催されました。

会場のあるシーガイア・リゾートは周りになにもない、海に緑に自然環境の素晴らしい勉強するには最適の場所であり、ゴルフやテニス、レストラン、温泉など施設も充実しています。学会のみならず参加して頂いた先生方にはこれらの雰囲気を楽しんで頂き、日頃の喧騒から離れ、自然の中でリフレッシュして頂いたのではないかと思います。

毎年熱気に包まれる九州支部学術大会も来年は阿部成善大会長のもと大分県で開催されます。宮崎でお会いし交流を温めた先生方と大分で再会することを心より願っております。

中国・四国支部活動報告

支部長 赤川安正

中国・四国支部は、広島、岡山、山口、鳥取、島根、徳島、香川、愛媛、高知の9県からなり、その会員数は1,000名(平成24年3月4日現在)であります。

平成23年度の中国・四国支部の最大の行事である第31回の中国・四国支部総会・学術大会を平成23年10月15日(土)、16日(日)の両日、松山市の松山全日空ホテルで開催いたしました。今回の学術大会は、「インプラント これからの10年を見据えて」をメインテーマにして、大阪大学前田芳信教授による特別講演をはじめ、シンポジウム、専門医教育講座、専門歯科衛生士教育講座、専門歯科技工士教育講座、さらに、昭和大学の新谷 悟教授をお招きして市民公開講座を開催いたしました。また、一般口演として23演題、衛生士セッション1演題、技工士セッション1演題の25演題の発表があり、大会長の浜川裕之教授のもと極めてスムーズに運営され、大変有意義な学会と

なったと思われまます。当日の懇親会も多数の方々がおみえになり、熱い討論やなごやかな談笑があり、松山のとても気持ちのよい夜でした。準備委員長の原瀬忠広先生、大会事務局の羽倉隆昌先生をはじめ、運営に携わった方々に心から感謝を申し上げます。

今年度は高知市で岡本康生大会長のもと、平成24年11月17日(土)、18日(日)に総合あんしんセンターで開催されます。是非多くの先生、関係者の皆様のご参加をお願いいたします。

また、今年度は中国・四国支部独自の新たなとり組みとして、これからインプラント治療を取り入れる開業医の先生や若手の先生を対象としたインプラント・スタートアップセミナーを開催する予定です。これらの活動を通じて、国民の皆様へ安心・安全なインプラント治療を提供できるように啓蒙活動を行っていきたくと考えています。

遅まきながらの「学会ホームページ」リニューアルについて

広報委員 十河基文

既にご覧になった先生もいらっしゃるかと思いますが、2011年4月1日、長年にわたって掲載されてきた学会ホームページ(以下HPと略)が装いも新たにリニューアルいたしました。

■洗い出しと改良点:準備期間の約1年の中で、広報委員会ではまず従来のHPの改善点を洗い出し、大きなことでは4点を改善しました。従来のHPはスクロールが多いと感じていたため、今回は画面の約1.5倍以内のスクロールを目標としました。2点目として、左に並ぶアイコンが多数存在し、かつ項目の整理もわかりにくい部分が多かったため、全頁上段に共通するグローバルメニューを設定し、さらにクリック後のページでは左欄に中/小項目を表示するようにしました。3点目は、これまで全ての頁が同じURLで情報交換が困難でした。そこで、本来あるべき各々の頁URLを割り当てました。最後に、HPの色使いがピンクやオレンジも使われ奇抜ささえ感じたため、学会カラーの青色を基調に作成しました。そんな新ホームページを是非ご覧ください。

■将来像:広報委員会では将来のHPのあり方も検討しており、この機会にその一部をご紹介します。

パソコンやスマートフォンの普及スピードを鑑みると、インターネットの利用はさらに進むことでしょう。そんな時代にマッチした学会HPの充実は必須です。現在、紙媒体で発行しているニュースレター(Implant News:以下NLと略)は既にpdfではアップされていますが、今後、個別コンテンツとしてアップさせて過去の情報の検索性を向上させるべきです。また将来には、海外の学会雑誌のようにネット上で学会論文の閲覧ができるようにすることも検討されていくことでしょう。また、HPはわざわざ見に行かないと見ることができません。そのため、会員にメールマガジンを発信することで閲覧の機会を増やすことも検討の1つです。さらには公益社団法人の使命として会員だけでなく、開かれた学会として国民向けのHPを作成することは必須であると考えています。

■最後に:そんな第一歩が今回のリニューアルで、十河は広報委員の1人として関わらせていただきました。今後も広報委員会では、会員の皆様方が閲覧したくなるような、そして国民に開かれた学会となるべく、より良いホームページ作りを考えていきたくと思っています。

指定研修施設紹介

九州歯科大学附属病院 口腔インプラント科

施設長 細川隆司

九州歯科大学附属病院口腔インプラント科は、平成24年度現在、私を含めて有給常勤医9名(医員研修医も含む)、大学院生11、研究生・専修生(研修登録医、連携登録医、特別研修医等も含む)56名、研修登録衛生士3名、研修登録歯科技工士2名で口腔インプラントに関わる臨床、教育、研究を行っています。

臨床では患者中心の歯科医療を心がけており、できるだけグラフトレスなどの低侵襲インプラント治療を目指してはおりますが、一方で、必要とされる症例にはサイナスリフトや骨移植、あるいは口腔外科との連携のもとに顎補綴などのインプラント治療を行っています。また、即時荷重インプラント治療やコンピュータガイド手術などを積極的に取り入れ、地域の中核病院として、またインプラント治療専門医の教育施設として高い機能を有する口腔インプラント治療専門診療科を目指しています。

歯学部の学生教育としては4年次生に対し、口腔インプラント学の講義・実習(45時間)を行っています。講義内容はインプラントの意義、目的、歴史、解剖学、X線読影、診査診断、リスクファクター、適応症、外科術式、補綴術式、咬合、メンテナンスなどを行っており、また実習内容としては、コンピュータシミュレーションを用いた三次元的画像診断、診断用ワックスアップや診断用ガイドプレートの作製、模型上でのインプラント体埋入実習、ブタ下顎骨を用いたインプラント体埋入および軟組織のマネジメント実習、印象採得やガム模型の製作などを行っています。また、5、6年次生に対しては臨床実習の中で症例ベースの検討を行いながら国家試験や将来の臨床に向けての知識習得を目指しています。

一方、卒後教育(研修医、大学院生、臨床登録医など)としては週2、3回の症例カンファレンスや月1回の研修会を行い、口腔インプラント治療



に関するベーシックな知識(学会認定研修、いわゆる100時間コースを完全にカバーする内容)だけでなく、アドバンスな治療介入までを含む体系的な教育を行っています。また、大学常勤医はBLSヘルスケアプロバイダー認定を課すだけでなく、3か月の麻酔科研修によって全身管理の基本を身に付けさせています。歯科衛生士に対しても日本口腔インプラント学会の認定専門衛生士育成プログラムを作成し、体系的な教育を行いつつ、外来ではチーム医療の実践に努めています。

当科の研究としては、インプラントの即時負荷のリスクファクターに関する臨床研究(多施設の長期研究も含む)、睡眠時ブラキシズムと精神的ストレスとの関連、OHIPを用いた口腔関連QOLの測定、インプラント治療における物理療法(超音波療法、超短波療法)の有用性、インプラントの失敗と遺伝子多型との関連、血流計を用いた軟組織診断などを行っています。また、将来的な臨床応用を目指し、口腔乾燥症や、骨細胞のメカノバイオロジーに関する基礎研究も同時に推し進めています。

我々は、多くの臨床医の先生方との密接な連携の中で、様々な治療や研究を行っています。大学所属の先生だけでなく、本学会員の多くを占める臨床医の先生方や、歯科衛生士、歯科技工士の会員の方々とも様々な連携をとりながら、未来の口腔インプラント学を切り開いていきたいと思っております。会員諸兄、諸姉の皆様、どうか今後とも私達、九州歯科大学附属病院口腔インプラント科を宜しくお願い申し上げます。

中部インプラントアカデミー

施設長 安藤雅康

中部インプラントアカデミー(以下、CIAと略す)は、2010年2月に学会指定研修施設として認定していただきました。今年度は27名の受講生をお迎えし、第3回CIA主催認定講習会(4月～11月)を名古屋駅前にて開講しています。

現在、CIA会員数は102名、指導医3名、専門医5名、認証医5名、専門歯科衛生士2名で活動しています。学会活動は、一般口演(総会・支部会)に2010年は16演題、2011年は8演題と積極的に取り組み、ケースプレゼンテーション試験では9名の先生が受験され、全員合格という素晴らしい成績を収めることができました。

昨年秋に地元名古屋で開催された総会では、イブニングセッションの貴重な時間(1時間)をCIAが頂戴する機会を得ました。テーマを決定する際、CIAは主に開業医で構成される臨床系施設である特徴に着眼し、開業医が明日からでも現場で実践



できるような内容を検討しました。そこで、『失敗をしないインプラント治療を目指して—成功への勘所と戦略—』をテーマに掲げてセッションを行ったところ、会場からも熱心な議論が交わされ、多くの先生から反響を得ることができました。このように、CIAは学会主導のもと、常に開業医による開業医のための臨床系施設であることを軸に、講習会や学術活動を構成してまいります。

CIA主催認定講習会の特徴は、基礎講義では大学から基礎系指導医の先生方をお招きし、また臨床系講義ではインプラント臨床の最先端を率いておられる大学および開業医の著名な指導医の先生方を外部講師としてお迎えし、最新の情報提供をお願いしています。その他にも、医科大学の外科系指導医師および多数の認定看護師による救急蘇生やルート確保の実習を講習会に取り入れ、歯科医院でも実践できるような救急医療のノウハウをわかりやすくご指導いただいています。その分野で世界的に活躍されているスペシャリストから直接教えるを乞うことの重要性をつくづく実感します。

最後に、本年1月にNHK放送、クローズアップ現代で『歯科インプラント被害者急増と背景』と題して、専門医制度と歯科医師のモラル低下に関して問題提議がなされていました。CIAでは、知識や技術の習得のみならず、インプラントジストとしてのモラルや心構えを最重要課題と考えています。CIAの歴史はまだ浅いのですが、今後も心、学術、技術の共に優れた質の高い専門医、認証医の育成ができるように環境を整え、会員一同日々切磋琢磨していく所存です。

第41回 日本口腔インプラント学会総会学術大会

「インプラント治療の安全推進行動：安全・安心のためのチェックリスト」

前田芳信, 古谷野 潔, 井上 孝, 大塚 隆, 佐藤裕二, 越智守生
萩原芳幸, 馬場俊輔, 矢島安朝, 宮崎 隆(学術委員会委員)
松井徳雄(東京都開業)

〈チェックリストの作成に至った経緯〉

第41回学術大会のメインテーマが「インプラント治療安全の推進行動」と決定してから、学術委員会ではこのテーマに沿った内容のシンポジウムの企画を検討した。そこでは、術者が安全に、か

つ患者さんが安心して治療を進めるためには、「インプラント治療を行う際に術者と、患者さんの双方が治療に関わる諸条件の難易度を共通に理解していることが前提である」との認識から、もう一度原点に立ち返って、インプラント治療を希望される

患者さんが来られた場合に会員に使用してもらえ
るチェックリストを作成し提案することとなった。

内容的には、最初の医療面接において確認す
べき事項から、外科処置、補綴処置、歯周治療に
関連する広い範囲を含める必要があると考えられ
たため、学術委員会のメンバー以外に、歯周治
療を中心に積極的に活動されている松井徳雄先生
にもご参加いただくことにした。

学会事務局に集まったの会議ならびにメール
会議をたび重ねて、原案を作成したのだが、その
過程において、当然のことではあるが、白熱した
議論が戦わされたことはいうまでもない。

「実際に使用してもらうことを目的としてい
るので、簡便でかつポイントをおさえたものとす
べきである」、[学会が提案するものであるので、
それが独り歩きして、これさえ使えばそれでいい
と考えられては困るのではないか。そうなるとか
かなり詳しい解説を必要とするので、膨大なリス
トとなるのではないか]、「そもそも、各研修施設、
大学、診療所ですでにそれぞれのチェックリスト
を作成して使用している可能性が大きいので、こ
こであらためて学会が作成する必要があるのか」
など、多岐にわたった意見が交錯した。

そのような過程を経た結果、以下に示すよう
な「作成のねらい」を設定し、具体案を作成する
に至った。

〈チェックリスト作成のねらい〉

インプラント治療は、歯の欠損にともなう咀
嚼の困難、外観の不良を解決し、それによって生
活の質を向上させることができる優れた治療の
選択肢とされている。

医療の安心、安全が問われているなかで、
インプラントを用いた治療においてもこれらの
要件を満たすべく、我々術者と患者が共通の認
識をもって、治療を開始する前ならびに治療
後の経過を記録し、結果として得たい目標とそ
れを制限する要素を理解し、より効果的かつ満
足できる結果が得られ維持されるようにしなけ
ればならないと考え本チェックリストの作成を行
った。

本チェックリストでは

- 適応症であるか否かの的確な判断
- 各症例で特に注意しなければならない事項(特

に全身的な既往歴)の把握

- インプラント治療を開始する前に行うべき治療
内容の再確認

- インプラント治療後の経過観察時に行うべき事
項の再確認

をその主な項目としている。

チェックリストの利用法ならびに注意事項：

- 本チェックリストは最少限度必要な基本的項目
のみをまとめたものであり、インプラント治療
を実施する場合にはより詳細な検討が必要となる。

- 本チェックリストを作成するに当たっては多くの
文献、知見を集約したものであり、それらを参
照していただきたい。

- 全身的な既往歴ならびに現在の状態に関しては
最新の検査データを入手して判断するとともに、
医科への対診を積極的に行っていただきたい。

第41回大会開催時においては、まだ最終原案
はまとまっていなかったが、2012年2月に最終
案を作成し、理事会のお許しを得て現在(平成24
年4月)学会のHPで閲覧可能な状態としている。
この案に対する、会員からの自由なご意見を
いただき、それを参考に修正を加えて2012年9
月に開催される第42回の学会において最終案を
報告する予定にしている。

〈チェックリストと治療指針の関係〉

現在 教育委員会においては「インプラント治
療の指針」を作成することが決定され、その準備
が着々と進んでいる。教育委員会の渡邊委員長
とは、このチェックリストと治療指針は整合性
を有しており、連動して使用すべきものである
との共通認識の上で、並行して作業をすること
を確認している。

〈今後の展望〉

第41回のシンポジウムには事前にNHKから
の取材申し込みがあり、学会がこのような取
り組みをしていることを報道するとともに、
チェックリストが公開されることが期待されて
いる。

最初に述べたように、本チェックリストは術
者ばかりでなく、患者さん自身にも状況を正
しく理解してもらえようようにすることに活用
していただきたいと考えている。ぜひ、ホーム
ページからダウンロードして試用していただ
きたい。

第41回 日本口腔インプラント学会総会学術大会 教育委員会主催シンポジウム報告

教育委員会

教育委員会ではガイドライン用語として治療指針とすべきか議論があるところであるが、この作成を目指し、検討を行ってきた。今回は二つのテーマ「CAD/CAMガイドドサージェリーの適応と信頼性」と「遊離端欠損におけるインプラントの適応と限界」を取り上げ、シンポジウムを行ったのでその内容を報告する。

1) CAD/CAMガイドドサージェリーの適応と信頼性

公益社団法人日本口腔インプラント学会が目指す「安全、安心の口腔インプラント治療」を実現するためには、インプラント体埋入手術の精度を上げ、手術計画に沿った位置に正確にインプラント体を埋入できるようにすることが必要不可欠な条件である。コンピュータテクノロジーの発展により、コンピュータソフト上の手術シミュレーションをさらに術野に再現するCAD/CAMガイドドサージェリーが開発されたが、この方法は計画通りのインプラント体埋入が実現できる方略として近年、注目を浴びている。しかし謳い文句通りの信頼に値する精度が得られるか、そしてどの程度の誤差があるかはまだ不明な点が多い。そこで教育委員会では本シンポジウムを企画した。

シンポジストは教育委員会の春日井昇平委員と白鳥清人先生が講演し、コメンテーターの矢島安朝委員と永原國央委員が追加発言をするという形でシンポジウムが進行した。春日井委員の講演は「サージカルガイドは両刃の剣」という題名で主として問題点を、白鳥先生は「ガイドドサージェリーの有用性と安全性」という題名で主として利点を話された。すなわち、白鳥先生はCAD/CAMガイドドサージェリーの高い精度と、CAD/CAMにより製作された上部構造が手術計画の段階から連結することで、より高度なインプラント治療が実現できることを報告した。一方、春日井先生はCAD/CAMサージカルガイドの精度誤差、操作性、誤差の発生源の問題を提起し、本法は今後必要不可欠な手法となるが、さまざまな注意点

があり、間違えると大きな誤差を生むと報告した。

会場は満席で、立ち見まで出るという盛況であり、聴衆から多くの質問が出て、熱気がこもった討論となった。演者とコメンテーター、さらには聴衆も含めた議論の結果、(1)精度の高いインプラント治療を実現するためにはCAD/CAMガイドドサージェリーは今後不可欠な技術となるであろう、(2)フラップレスのガイドと骨面適合のガイドは適応が大きく異なる、(3)一定の誤差があり手技と適応を誤ると大きな誤差を生じる可能性がある、(4)新しい方法には新しい合併症がある、ことで議論は収束した。

ガイドドサージェリーは上顎洞底挙上同時インプラント埋入、骨削除が必要な症例でのインプラント埋入、さらには顔面インプラントの手術計画にも応用されており、今後、さらなるガイドドサージェリーの応用法が開発されると思われる。

(文責 福岡歯科大学 松浦正朗)

2) 遊離端欠損におけるインプラントの適応と限界

このシンポジウムでは、下顎の3歯以上の遊離端欠損を対象に、インプラント補綴治療の基準とその限界、将来起こりうる問題点に関して、1)下顎欠損は必ず補綴しなければならないか？ 2)必要なインプラントの本数と位置とは？ 3)インプラント補綴することで残存歯を助けられるのか？

の3つのクリニカルクエスチョンを作成し、検討を行った。シンポジストは3名で1)については大阪大学の前田芳信委員に代わり池邊一典先生が、2)については大阪歯科大学の江藤隆徳委員が、3)については日本歯科大学新潟生命歯学部の新潟文彦委員長が発表した。

1)については、下顎欠損を放置する治療オプション、すなわち短縮歯列(SDA)と遊離端欠損に対するインプラント補綴とを比較検討することで、このCQへの回答とした。その結果は以下のとおりである。①臼歯欠損を放置した場合、対合歯が挺出するなどの歯列の形態の変化が生じるこ

とが多い。②咀嚼能率や咬合力が一定の基準を満たしておらず、治療効果の望める人は、やはり補綴すべきである。③逆に、機能的に一定の基準を満たしておれば、無理に治療介入する必要はない。④大阪大学のデータでは、臼歯部2歯欠損では65%、3歯欠損では84%が部分床義歯を使用しており、日本では、短縮歯列(欠損放置)は、一般に患者に支持されていない可能性が高い。⑤最終的には、歯科医師が、Evidenceに基づいて治療成績や利点欠点などについて情報提供し、口腔・全身状態に応じて治療方針を提案し、患者の希望を取り入れて補綴するか否かを決定する。

2)については、明確なEBMに基づいた報告は少ないが、積み重ねられた臨床の結果も十分評価できるとみなし、検討を行った。その結果、左右側のバランスがとれ、安定した咬合接触付与とインプラントへの負担荷重を考慮すると、1歯欠損に1本の埋入が原則であると考えられる。もちろ

ん顎骨の解剖学的形態や骨質を考慮し、埋入本数や位置を決定する必要がある。

3)このCQに対しては、鈴木らが1歯の中間欠損においてブリッジ治療群とインプラント治療群とで隣在歯のトラブル発生率を比較し、インプラント治療群のほうがトラブルの発生が少なかったことを報告している。しかしインプラント治療患者の残存歯の予後に関する報告は少なく、十分なEBMを提示できていない。今後マルチセンタースタディーを行い、ブリッジや可撤性局部義歯と比較検討を行うことが必要とされる。

以上、明確な回答が得られるCQもあれば、これからの更なる臨床疫学が必要とされる項目もあるが、このシンポジウムでのディスカッションはガイドラインの作成にとって有意義なものであった。

(文責 九州大学歯学部 松下恭之)

第31回 関東・甲信越支部学術大会 イブニングセッション

「ワークライフバランスを考える—女性医療従事者の必要性と今後の発展—」報告

日本大学松戸歯学部口腔インプラント学講座 中台麻美

「女性インプラントロジスト育成のためのセミナー」が2009年から開催され、今年で4回目となります。今回その一環として、第31回 関東・甲信越支部学術大会にて、「ワークライフバランスを考える—女性医療従事者の必要性と今後の発展—」というテーマで、支部学術大会としては初めてのイブニングセッションを開催いたしました。学会に参加された歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の方々にアンケート用紙を配布し、女性医療職の就労継続に関する考え方について調査しました。

アンケート結果では、男性407名、女性181名、回答率80.9%と高い回答率が得られました。「女性医療職が育児と介護と仕事の両立を困難にさせている原因は何であるか」という質問に対し男性では「社会支援制度の不備」で、女性では「職場内の支援制度の不備」でありました。同様に、「女性医療職が育児や介護と仕事を両立させてキャリアを継続するために有効と思われる取組は何であるか」という質問に対して、男性は「配偶者の育児・

家事・介護への積極的参加」が最も多く、女性では「勤務時間の短縮や勤務時間帯の弾力化」でありました。また、学会開催中の託児所設営の必要性を質問したところ、必要がないと回答したのは16%でした。このようなことから他学会においても、学会開催中の託児所の設置が検討されてきています。

これらの結果をもとに、セッションの参加者が数人に分かれグループ討議を行いました。参加者は、年齢、職種も様々な方々であったため、活発な意見交換が行われました。討議中は、コーヒープレイクを挟みながら終始和やかな雰囲気で行って行きました。終盤では、グループ討議の結果を各グループのリーダーがまとめて発表し、グループ全体のディスカッションを行い、短い時間ではありましたが貴重な意見や提案などが得られ、有意義なセッションとなりました。

今年度開催される第42回学術大会においても「女性インプラントロジスト育成のためのセミ

ナー」を開催する予定です。活躍する女性に学ぶ—専門性を高める—というテーマにて、田村文誉先生と若松陽子先生の講演が予定されております。性別、職種関係なく様々な方のご意見をお待ちしておりますので、ぜひご参加下さいますようお願い

いたします。

最後になりましたが、アンケート調査にご協力をいただきました先生方、歯科技工士、歯科衛生士の皆様方、学会関係者の方々に心より感謝いたします。

新入会者紹介

(平成23年10月10日~平成24年6月6日)

▼東北・北海道支部

(北海道) 高田博雅, 森 憲弥, 荻原宏志,
菱沼直弘, 中川 仁, 前田輪嘉幹, 山内貴紀子,
町田未来, 伊藤達郎, 堀川英洋, 横塚 希,
齊藤美奈子, 杉林 彩, 大浦理美, 村田真介,
河野 舞, 森 幸徳, 津村美沙子, 吉原侑希,
岸田菜奈, 中嶋幾美, 榊原 豪, 小林永治,
大西由香里, 飛澤早紀
(青森県) 久保幸未, 鈴木香波, 長内彩子,
児玉丹奈, 山田真紀
(岩手県) 五十嵐靖之, 山田優貴, 大平千之,
田邊憲昌, 吉田大徹, 成石浩司, 金村清孝,
野村太郎, 澤田 愛, 佐藤 剛
(宮城県) 小林司史, 松館芳樹, 大塩雅人,
長坂 浩, 佐藤大輔, 水戸武彦, 神田直典,
松井桂子, 奥平由紀子
(秋田県) 古田富夫, 工藤卓奥, 工藤利仁,
佐藤弘樹, 斉藤光博
(山形県) 佐藤康人, 松嶋雄太
(福島県) 西村 翼, 松本圭一郎, 関根貴仁,
山崎由香, 田中直毅, 柴原栄一郎, 山口晴彦

▼関東・甲信越支部

(栃木県) 吉田英毅, 飯田真純, 武井麻美,
岡本真利, 三島雄三, 小松俊一, 緒方裕也,
(群馬県) 結城啓之, 根岸貴人, 高木里美,
入澤孝昌, 小林知誠
(埼玉県) 谷口善三郎, 稲葉順一, 河野太一,
志田嘉奈子, 松岡奈央, 佐藤昭之, 中井誠二,
奈良有美子, 宮澤孝征, 浅香淳一, 井上栄一,
昼川和宏, 丸山真司, 金子博寿, 生方真人,
熊井智久, 廣神 宝, 伊藤光一, 中里寿光,
松島弘明, 飯田 亘
(千葉県) 安原亜矢子, 武内崇博, 松井雄一郎,
坂本 圭, 葉梨亜耶, 久田俊明, 中村 孝,
加藤博成, 高橋由香里, 福田真之, 高梨裕己,
平山香奈恵, 古谷充明, 寺山 功, 武安嘉大,
岩井千弥, 山根茂樹, 山田栄実, 中村 瞬,
石崎 憲, 原 慶宜, 今井浩之, 西村伸明,
渋谷 鋳, 君山亜沙美, 砂田知志, 能村嘉一,
大久保 均, 井桁薫子, 齋藤加奈枝, 山口 靖,
Bhawal Ujjal Kumar, 末石哲之, 井口将人,

野澤亜也子, 南有希子, 松木雄二郎, 小林史卓,
新貝千晶
(東京都) 橋本達也, 関山尚克, 喜地 誠,
田村直樹, 高田和江, 篠崎讓二, 朽名智彦,
矢野正明, 鈴木 航, 大澤裕樹, 八木 修,
中村昇司, 地川弘一, 青木伸泰, 梶村幸市,
伏木亮祐, 前田 貢, 堤加奈子, 中西竜三郎,
小林純子, 今野雅之, 大野浩之, 山田清貴,
漆原剛起, 今西貴久, 入野憲一, 遠藤広規,
工藤弘一郎, 深澤壽法, 重井亜紀, 藤澤こず恵,
滝口裕一, 竹下章雄, 林 憲邦, 玉木真利子,
太田智之, 土肥昭博, 白須健一郎, 松田敦至,
小笠原慶一, 中井真里, 大野美知昭, 笠原 明,
安達英一, 中村英輔, 榎原幸子, 田賀 仁,
松浦毅士, 大島寿夫, 池野貴仁, 秦 美治,
宮里尚幸, 山形純平, 小奈正弘, 吉峰正彌,
石川創一, 川崎陽子, 藏下友実, 渋谷美雪,
山田将平, 藤井京子, 佐藤 兼, 平井一孝,
神澤 晃, 江崎早苗, 三井 悟, 緒方りか,
高田剛史, 渡辺菜津子, 上田浩一郎, 明石 豪,
大串貴太郎, 引間正太, 佐久間康輔, 野島久子,
足立雅行, 萩野幸治, 福田達哉, 青木秀啓,
森倉さやか, 西田 茜, 田村友寛, 山内真人,
鈴木敏浩, 奥山淳史, 笠井俊輔, 半澤昌也,
長谷部真季, PauloMalo, 高橋章太郎, 岡田成寛,
(神奈川県) 稲田洋之, 前川雄紀, 小林弘明,
藤村哲彦, 難波正英, 荒谷和弘, 平野哲也,
宮城直美, 辻村和寛, 徳江 藍, 齋藤友美,
若林茂雄, 中川幸香, 飯村 彰, 上山玲美,
原田奈奈, 黒嶋伸一郎, 山田 亮, 杉村 亮,
日高恒輝, 黒川貴史, 宮内千晴, 玉置勝司,
小池隆彦, 新井俊弘, 高橋 彩, 鈴木俊和,
磯部知巳, 瀬尾 徹, 梶野 裕, 西山 諒,
大口慧士, 市川伊織, 岡田和久, 齋藤 徹,
井手武仁, 吉村かなえ, 坂本清視, 青木英太郎,
(新潟県) 野澤太郎, 梶沢裕貴, 大貫尚志
(山梨県) 内藤龍彦
(長野県) 鶴飼周太郎, 笹山智加, 澤口通洋

▼中部支部

(岐阜県) 藤井政也, 高橋 潤, 三森智弘,
中島宗則, 吉川智士, 土田直之, 伊藤久美子,

- | | | | | | | | |
|---------------|--------------|--------------|--------|----------------|-------|-------|-------|
| 大熊俊宏
(静岡県) | 河村 純
望月宣秀 | 土井 豊
渡邊信介 | 上野祥夫 | (奈良県) | 松川敏久 | 上田沙織 | 河原康二 |
| 渡邊恒明 | 笠村康代 | 晒名正人 | 佐々木絵里香 | (和歌山県) | 上田秀起 | | |
| 牧野路生 | 佐藤徳政 | 小池晶彦 | 児島俊彦 | ▼中国・四国支部 | 宮本全由 | | |
| 金子 亮
(愛知県) | 鳥巢慶一 | | | (鳥取県) | 奈良井 節 | 領家 和男 | |
| 梶田 伸 | 長谷川隼 | 稲吉孝介 | 惣城一美 | (岡山県) | 宮崎文伸 | 小泉 博 | 日浦 誠 |
| 宮嶋友理 | 中原季乃 | 服部由佳 | 天野一晴 | 遠藤 梓 | 武田達也 | 植田淳二 | 寺尾 茂 |
| 安藤正彦 | 仲野美穂子 | 吉田弦希 | 吉田富美子 | 仲野友人 | 小山絵理 | 横田美由紀 | 谷村博史 |
| 小久保賀代 | 今枝康至 | 乾 大紀 | 浅見和哉 | 池田充宏 | 大前正範 | 中村弘幸 | 矢吹恵美子 |
| 糸数直也 | 三浦里紗 | 岸尾有紗 | 小島悠司 | 井上栄徳 | 對馬真道 | 福江善朗 | 金田まゆみ |
| 大森正裕 | 永椎美希奈 | 小出善彦 | 穂積隆浩 | 川本貴美
(広島県) | 奥井 岳 | 細島夕益子 | 栗栖智子 |
| 山田裕美
(三重県) | 清水勇孝 | 長屋 弘 | 小川知子 | 山崎琴絵 | 原田佳奈 | 大堂敏彦 | 沖原朱美 |
| 伊藤法彦 | 梶村有紀子 | 柴田浩二 | | 楨田知佳恵 | 有岡憲助 | 山岡今日子 | 藤田光訓 |
| ▼近畿・北陸支部 | 河上将太 | 山崎長巳 | 中野雅也 | 伊藤利通
(山口県) | 宇都宮 誠 | | |
| (石川県) | 茂理幹人 | 岡村健治 | | (徳島県) | 児玉昭彦 | | |
| 高橋金吾
(福井県) | 舘 恒徳 | 澤田由依 | 横川真波美 | (香川県) | 郡 元治 | 武田聡史 | 鷹野枝里 |
| 出口拓磨
(滋賀県) | 諸井明德 | 今野奈津子 | 若泉学史 | (愛媛県) | 竹井美紗 | 河本智子 | 渡部ゆみ |
| 上原茂弘
(京都府) | 今野奈津子 | 竹下英俊 | 中西祐美子 | (高知県) | 寺井邦博 | 山中美幸 | 坂本竜治 |
| 木村泰子 | 八幡哲明 | 春日井仁丸 | | ▼九州支部 | 吉峯隆史 | | |
| 田村佳代
(大阪府) | 服部 均 | 森康一郎 | 浅井宏行 | (福岡県) | 山中美幸 | | |
| 永山哲史 | 西垣 勝 | 貫野 寛 | 中村文彦 | 石崎慶太 | 外間宏亨 | 櫻木 享 | 古賀友基 |
| 加藤雅勇 | 谷 健太 | 小椋詞穂未 | 苗村真由子 | 宮崎揚子 | 黒田将彰 | 高崎 敬 | 有岡将基 |
| 和田 隆 | 飯田 格 | 下地常揮 | 疋田陽造 | 白本知大 | 草場裕美 | 平山間一 | 小柳朋美 |
| 寺嶋宏曜 | 王 宝禮 | 美馬孝至 | 清水 将 | 平岡麻衣 | 和智貴紀 | 大坪義渡 | 吉田祥子 |
| 高崎卓治 | 文元基宝 | 細川さおり | 浅野桂右 | 嶺井香奈江 | 神田詩織 | 堤 晋一 | 喜瀬直樹 |
| 木川敬一 | 中野淡由美 | 高 春美 | 甚佐紗耶 | 臼井通彦 | 中村由紀 | 田中栄輔 | 富田陽子 |
| 福水麻衣子 | 溝口明子 | 栗田英昭 | 藤林 要 | 首藤俊介 | 原口拓也 | 宗政 翔 | 森山雅文 |
| 上田春菜 | 花河俊幸 | 内藤 融 | 佐々木聡 | 竹之下康治 | 鱈田めぐみ | 蔵原慎一 | 井上美子 |
| 西村里織 | 内野数馬 | 後藤有佳里 | 武下 肇 | 橘 慶州 | 三輪 敦 | 今井 遊 | 三枝真依子 |
| 河田賢治 | 田頭照美 | 土井和弘 | 秋山広徳 | 坂口玉美 | 山下亮輔 | 竹内 純 | 津村 太 |
| 丸山太郎 | 吉田明美 | 藤川 瞳 | 福田拓也 | 松浦由梨 | 福田達也 | 高山雅仁 | 鬼村朋宏 |
| 永久景那 | 山田実抄 | 西川肇力 | 海田浩治 | 井上友太
(佐賀県) | 毛利文香 | 青沼史子 | 高橋俊樹 |
| 奥田潤子 | 柴崎義貞 | 十河厚志 | 廣谷友紀 | 山口竜亮 | | 青木南平 | 仲 貴之 |
| 福永剛士 | 倉家亜矢子 | 平野琢起 | 有田周平 | 廣瀬一秀 | | 米光一裕 | 川崎信一 |
| 久保知一 | 伊藤友彦 | 笹内彩香 | 岸上拓央 | 松浦 明
(長崎県) | | | |
| 森岡 敦 | 藤本広之 | 前沢 宙 | 坂中幸誠 | 梯 裕恵
(熊本県) | 上田倫生 | 中谷佑哉 | 黒木俊郎 |
| 坪田知士 | 梅崎泰之 | 堀之内孝彦 | 応 自為 | 竹下修二 | 竹下修二 | 毛利收孝 | 向江富士夫 |
| 吉見二郎
(兵庫県) | 中川陽介 | 中村 裕 | 遠藤聡子 | 上田美穂 | 上田美穂 | 有村嘉人 | 高岡秀樹 |
| 藤平 敬 | 永田雅英 | 宮本佳苗 | 田中麻紀 | 土山紗智 | 上村由貴 | 阿川健太郎 | 若林大剛 |
| 中野訓夫 | 廣田秀逸 | 中川泰子 | 上田貴史 | 横瀬真由美
(大分県) | 中村昌代 | 助廣都祈 | |
| 佐藤美織 | 清水 雅 | 柏木隆宏 | 中島俊輝 | 岸 岳宏
(宮崎県) | 濱田一徳 | 濱田邦朗 | 松田裕文 |
| 村瀬雅典 | 柏木隆宏 | 寺内理恵 | 松野彰仁 | (鹿児島県) | 南谷香澄 | 吉元利仁 | 山下智英 |
| 東江正裕 | 藤平 敬 | 永原櫻子 | 石原 研 | (沖縄県) | 小関亮介 | 石橋貴樹 | |
| 西田茂弘 | 中野訓夫 | 大西健祐 | 藤城聡一郎 | ▼外国 | | 狩谷 選 | |
| 上村美加 | 佐藤美織 | 任 順興 | 鵜飼 誠 | (台湾) | 蘇 正堯 | | |
| | 東江正裕 | 齊藤進之介 | 長峯隆史 | | | | |
| | 西田茂弘 | 鈴木 勉 | 田村佑介 | | | | |
| | 上村美加 | 谷口順一 | 前田恵美 | | | | |

(以上 599 人)

Thinking ahead. Focused on life.

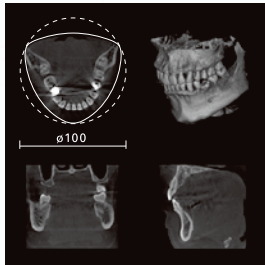


Veraviewepocs 3Df

New Frontier of the X-ray

Ø40x40の局所領域からØ100相当x80のフルマウスまで対応する、撮影領域。CT、パノラマ、セファロ撮影までカセット交換不要の、CMOSセンサー内蔵式。パノラマ画像撮影後のフォーカス微調整を可能にした、可変断層パノラマ機能。関心領域のクリックによりCT撮影の位置付けを自動で行う、パノラマスカウト。

Debut



Dental-Arch FOV (歯列弓型撮影領域)を新搭載

より少ない照射線量で全歯列の撮影を可能にする新搭載のDental-Arch FOV。歯列がちょうど収まるØ100相当の撮影を行うことを可能にしました。

発売 株式会社 MORITA 大阪本社: 大阪府吹田市重水町3-33-18 〒564-8650 TEL 06-6380-2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL 03-3834-6161
 製造販売: 製造 株式会社 MORITA製作所 本社工場: 京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL 075-611-2141 久御山工場: 京都府久世郡久御山町大字市田小学新築城190 〒613-0022 TEL 0774-43-7594
 販売名: ベラビュー エポックス 標準価格: 3Df-40 16,800,000円~ (消費税別添)、3Df-100 19,800,000円~ (消費税別添) 2011年12月1日現在 一般的名称: アナログ式歯科用パノラマ・新撮撮影X線診断装置
 機器の分類: 管理番号欄 (クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器届出番号: 20900B2700259000

www.dental-plaza.com



NEW



オッセオスピード インプラント

新たにオッセオスピード 3.0 S がラインアップに加わりました

承認番号	20700BZG00070000	届出番号	13B1X00020000003
	20800BZG00033000		13B1X00020000004
	20800BZG00034000		13B1X00020000005
	22300BZ100015000		13B1X00020000007
	22400BZ100003000		13B1X00020000019
認証番号	223AMBZ100002000		13B1X00020000020
	223AMBZ00003000		



製造販売業者 アストラテック株式会社 〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-1 八重洲口大栄ビル12F
 TEL:03-3243-5055 FAX:03-3243-5057 http://www.astratech.jp

目次

第42回 学術大会迫る.....	1
第42回 学術大会プログラム.....	2, 3
研修施設変更・新設紹介.....	4
平成23年 指導医合格者紹介.....	4
平成23年 専門医合格者紹介.....	4, 5
平成23年度 専門歯科衛生士合格者紹介.....	5
平成23年度 専門歯科技工士合格者紹介.....	5
第29回 九州支部学術大会報告.....	6
中国・四国支部活動報告.....	7
学会ホームページリニューアルについて.....	7
研修施設紹介	
九州歯科大学附属病院口腔インプラント科.....	8
中部インプラントアカデミー.....	9
第41回 学術大会学術委員会企画シンポジウム報告.....	9, 10
第41回 学術大会教育委員会企画シンポジウム報告.....	11, 12
第31回 関東甲信越支部学術大会 イブニングセッション報告.....	12, 13
新入会者紹介.....	13, 14
広告.....	15, 16
目次.....	16

GC

アンカーサーフェス
新・表面性状「Anchor surface[®]」が
良好なオッセオインテグレーションを実現。
ジェネシオPlus、セティオPlus 新登場。

※Anchor surface (アンカーサーフェス)
「Anchor surface」はジーシーの骨代謝研究に基づいて
確立された表面性状です。「Anchor surface」のミクロ
及びマクロな二重凹凸構造は、血液中に含まれる血小板や
フィブリン線維が絡みやすく、また、これらの凹凸に沿って
骨組織が形成されることにより、良好なオッセオインテグ
レーションが期待されます。



GC IMPLANT Re
internal implant

GENESiO Plus

GC IMPLANT Re
external implant

SETiO Plus

ジーシースクリーンプラントReV 高度管理医療機器 22300BZX00099000
ジーシースクリーンプラントRe 高度管理医療機器 21400BZX00102000

発売元 株式会社 ジーシー / 製造販売元 株式会社 ジーシー
東京都文京区本郷3-2-14 東京都板橋区蓮沼町7C-1

※掲載の情報は2011年10月現在のものです。

広報委員会からのお知らせ

委員長：春日井昇平
副委員長：五十嵐俊男
委員：山内六男, 嶋田 淳, 十河基文
内藤宗孝, 北川 昇, 土屋直行

今号が現委員会最後のニュースレターとなりました。これまでのご支援ご協力ありがとうございました。なお、ご意見、ご要望等ございましたら、以下の連絡先にご連絡ください。

〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45
東京医科歯科大学インプラント・口腔再生
医学 春日井昇平
電話：03-5803-5934
ファックス：03-5803-5934
メールアドレス：kas.mfc@tmd.ac.jp

インプラント学会